

令和元年度第2回長浜市地域経営改革会議 要点録

- 1 日 時 令和2年3月26日（木）14：30～16：30
- 2 場 所 ながはま文化福祉プラザ 2階 多目的ホール
- 3 出席者 ○委員（9名）
新川委員長、石井副委員長、板山委員、遠藤委員、加毛委員、
川村委員、高崎委員、山崎委員、山本委員
○事務局
藤井市長、古田総合政策部長、山内総合政策部次長、
行政経営改革課
○担当課
公共施設マネジメント課、市民活躍課
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 開 会 ・市長挨拶
・定足数の確認
・資料、来年のスケジュール、委員名簿の確認
- 7 議 事
(1) 第3次長浜市行政改革大綱アクションプラン令和元年度評価（見込み）
・資料1に基づき事務局より説明
【質疑・意見など】
・定員適正化計画における定員の増加理由について
・非正規職員の待遇について
・将来の年齢層、男女比、目標数、年間の給与総額について
・時間外勤務、年次休暇取得率の職・男女比、目標値について
・係制の導入により、必要な職員数が増え、人件費とのバランスを取るのには困難になることについて
・新築した公共施設の延床面積目標の達成状況への影響について
・延床面積のみでの評価基準ではなく、施設の活用率を用いることについて（意見）
・季節による余剰人員の民間への出向について
(2) 次期行革アクションプランの検討
・資料2に基づき事務局より説明
【質疑・意見など】
・地域づくり協議会、連合自治会、学区がずれてまとまりがないところがあるので、
区域を見直した方がよい。人口減少で自治会が成り立たなくなっているところは、
自治会の統合も考えてほしい。地域の底力を発揮できるような環境づくりをしてほしい。
・多岐に渡る人材育成について
・中央官庁では、将来性を案じて若い職員がやめている。持続可能な市政運営について
職員同士の信頼関係をどのように築いていくのか。一生懸命働いている人が評価
され、職員の声を吸収し反映できるシステムはあるか。子育てや看護の手当、コン

プライアンス問題がきちんとできているのか。どのように組織力・職員の意欲を高めるか、人事交流はどのくらいされるのか。多様な働き方には多様な価値観が必要であるので、人材確保や育成を検討してほしい。

- ・立地適正化における公共交通の考え方の追加について
- ・官から民へのアウトソーシングだけでなく、民に官を寄せていく視点の追加について
- ・公共「施設」は「機能」であるため、部局を超えた類似施設の見直しが必要であることについて
- ・職員の出向による職員力向上について
- ・行政と地域の双方の負担軽減という考え方は新鮮だと思う。縦割りの弊害でスペシャリストが増えていて欧米式になっているが、昔の日本ながらの横に手をつなぐというのが逆に求められているのではないか。
- ・公共交通を必ず入れてほしい。民では採算取れない部分を維持するために、官がお金を出してほしい。人口減少は止まらないので、自治会の統廃合も含め、市の枠組みを超えた思い切った見直しが必要ではないか。
- ・調達方法の適正化の視点について
- ・長浜駅前に見所がわかるような情報の集約が必要ではないか。KANNON HOUSE の閉館後に長浜市版として帰ってくることや戦国立体マッピングなど。
- ・事業見直しについて、草津市で業務削減工程表の作成を行っているので参考にしているかどうか。

(3) 長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改定について（報告）

- ・資料3に基づき事務局より説明。

【質疑・意見など】

- ・学校教育施設系の令和6年度末計画目標の平成30年度比が0%であることについて
- ・機能別での数値目標だけでなく、地域別の数値目標の必要性について

8 その他

(1) 資料提供 長浜市の財務書類（平成30年度決算）の概要

- ・資料3について事務局より説明

(2) 令和2年度第1回会議の日程

令和2年6月3日（水） 14：30～16：30

(3) 山崎委員の退任について

山崎委員から挨拶

9 閉 会

以上